

意見書案第 15 号

消費税増税の中止を求める意見書

上記事項に関し、別紙のとおり意見書を提出することについて議会の議決を
求める。

平成25年9月26日提出

提出者 中間市議会議員 青木孝子

賛成者 " 宮下寛

 " 田口澄雄

消費税増税の中止を求める意見書

消費税は2014年4月から8%に、2015年10月から10%に引き上げられようとしています。10%になると国民への新たな負担増は13.5兆円にもなり、消費税は増税すべきではありません。

いま、長期にわたって国民の所得が減少し、消費が落ち込み、そのために経済が悪化する深刻なデフレが日本経済の大問題になっています。消費税の大増税は、消費をさらに冷え込ませ、デフレを一段と進行させ、地域経済はもちろん、国の財政を更なる危機に陥れます。今でさえ大変な暮らしが成り立たなくなり、商売も立ちいかなくなることは明らかです。被災者・被災地に深刻な打撃を与えます。

いま、日本に必要なことは内需を拡大することです。そのためにも、消費税増税を中止すること、リストラを止めて賃上げを行うことです。また、中小企業・農漁業者の営業を守ること、医療や年金などの社会保障を充実することが求められます。

社会保障の拡充やデフレ脱却と財政危機を打開するためには、①富裕層や大企業などの負担能力があるところに力相応の社会的責任を果たしてもらう。②国民の所得を増やして経済を立て直す。など消費税増税に頼らない道へきりかえることが必要です。

よって、政府は消費税増税を実施しないよう強く求めるものです。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成25年9月26日

中 間 市 議 会

提 出 先

衆議院議長 伊 吹 文 明 様

参議院議長 山 崎 正 昭 様

内閣総理大臣 安 倍 晋 三 様